

歴史と背景をふりかえり、根岸森林公園のみらいを考える

私たちが住んでいる第6地区一帯の地域は、風光明媚な丘陵地帯に形成された、都会の中に貴重な緑豊かな広大な自然環境が残っている、地元住民や市民に愛される「根岸森林公園」が隣接する、環境にやさしい「安心・安全なまち」です。

根岸森林公園および旧一等馬見所は、歴史的にも文化的にも非常に価値のある由緒ある場所です。根岸競馬場が開設される前は、横浜の原風景の谷戸があり、地元農民の棚畑や棚田のほか、山手方面から遊歩道があった場所でもあります。

第6地区周辺は「根岸競馬場」を中心に発展してきており、明治～戦前は競馬関連需要で地域が栄えて賑わいがあった事や、日本近代化の外交政策にとって、非常に重要な場所でもあった歴史もあります。

戦時中は旧日本海軍に収用され、戦後は米軍に接收され、昭和43年に日米安全保障協議委員会で返還方針が打ち出されたのを機に、当時の地域住民や市民たちによって、普段フェンスに囲われて手の届かなかった「目で見える憩いの場」をなんとかして「市民の憩いの場」としたいという夢が、市の都市計画的な考え方とうまく合致し、大きな「森林公園」にする構想が生まれたところに端を発します。

当時の市民たちの要求は、競馬再開でもなければ公務員住宅の建設でもなく、最初から一貫して「森林公園」実現の具体的な構想のもとに返還運動を展開してきた歴史があります。高度成長期に合わせて、横浜市内から年々失われていく緑の回復と市民生活向上にかけられた思いを、地域住民の私たちの世代で「森林公園」構想の総仕上げとして、更に次世代に繋いで行くためには、どうしたら良いかを考えて行く必要があるのではないのでしょうか？

戦後約70年経て根岸住宅跡地返還交渉の進展に伴い、米軍施設が撤去される方針が打ち出され、漸く横浜市民に全面返還される機会が私たちの目の前にやってきました。しかし、地域住民は米軍施設があることで目の前に公園が見えながらも自由な行き来ができず、長年不便を強いられてきております。

歴史的に最初で最期となる跡地返還の機会に、地域住民代表（第6地区のまちづくりを考える会）の役員の方々が中心となって、「根岸住宅地区跡地利用基本計画※」で示されている「森林公園拡張」案について協議検討を行って頂けること嬉しく考えております。

地域住民ならではの視点を活かし、市民の宝、憩いの場である森林公園の10年～15年後のみらい像について、前述の歴史的・文化的な背景を踏まえて、公共性に基づくあらゆる観点で「自然や緑が身近に感じられる、環境と共生するまち※」の具現化に向けて、私たちも微力ながら一緒に考えて行けるご機会を頂けた事、心より感謝申し上げます。地域住民や公園利用者の方々にとって、より良い公園環境づくり及び住みやすく安心して住み続けられるまちとするために、どうしたら良いかを考えて、まちづくり計画に地域住民の意見を生かし、森林公園のみらいの環境づくりに貢献出来れば幸いに存じます。

次葉では、跡地の都市開発行為による周辺環境への影響（①道路整備問題②公園拡張計画③環境保全・旧一等馬見所保全）の観点では、去年行われた基地対策課との意見交換時の疑問点・問題点の指摘と、地域住民としての要望・代替案、跡地活用提案をご説明させていただきます。

【参考図】 道路整備の問題点および疑問点

赤枠：再開発対象

4) 大芝台ルートでは、開発中央の候補地に市大と附属病院や低層マンション等が建設された場合に、大芝台の米軍ゲート撤去後は、一番楽に車両が出入りできる様になり、**必然的に横浜駅根岸道路への最短ルート**にならざるを得ない？！

問題点
疑問点

1) 主要道路整備（山元町4丁目ルート）により、**森林公園が分断**され、公園内に通過車両が往来する事で、子供からお年寄り、地域住民、一般公園利用者の安心・安全や利便性が著しく劣化する恐れがある。



至 稲荷坂
敷地外
9~12m幅
接続道路がある

既に1本
「通り抜け道路」では？

疑問点

3) 基地対策課からは、43 畝、3,000平米以上の都市開発を行う場合は、9m以上の道路（開発地区）から敷地外の道路に「通り抜け道路」を作らないと開発行為が行えないと説明があったが・・・

2) 基地対策課からは、山元町4丁目ルートの必要性について合理的な説明がなく、「**主要道路計画の修正は行わない**」と断言したが・・・

基地対策課からの説明矛盾点

根岸旭台から開発地区を経由して稲荷坂へ通り抜けられる主要道路（9~12m幅）が、既に1本ある点を指摘。（都市計画法令根拠の確認が必要）

疑問点
山元町4丁目ルートは、2本目のルート??

都市計画法令・条例によると、地域住民の合意が無いと都市開発行為や道路整備計画が出来ないという法律がある。（不同意申請を提出すれば開発計画を止める事が可能）

道路整備関連

問題点・疑問点

要望・代替案

見晴班 井出案
2022.4.17

跡地開発による周辺環境への影響

森林公園エリア

1) 主要道路整備により**森林公園が分断**され、**通過車両が往来する事で、小さな子供、お年寄り、足の不自由な方々をはじめ一般市民の公園利用者の安心安全や利便性が著しく劣化する**。現状ドーナツ広場と芝生広場をつなぐ横断歩道を車を気にせず安心安全に横断できている。

市の説明では、**立体交差橋や半地下に掘り下げること、歩車分離と謳っているが、そもそも車を通すことで公園内で事故発生する恐れや静かな環境が変わってしまうことに、不安を感じる地域住民や公園利用者が多い。**

2) 基地対策課からは、**山四ルート**の必要性について合理的な説明がなく、「**主要道路計画の修正は行わない**」と断言。**環境アセスメント実施前且つ、都市計画法令条例で地域住民合意が無いと道路整備ができない規定がある。**

3) 基地対策課からは、**43 畝、3,000平米以上の都市開発を行う場合は、9m以上の道路（開発地区）から敷地外の道路に「通り抜け道路」を作らないと開発行為が行えないと説明があったが、既に根岸旭台から開発地区を経て稲荷坂へ通り抜けられる9m幅の主要道路の接続が1本ある点を指摘。**

公園拡張計画

※「横浜市水と緑の基本計画」を考慮する。

1) 跡地基本計画上では、森林公園に隣接する部分は、ドーナツ広場や旧一等馬見所などゾーンと一体利用して利便性向上と謳っているが、**実態は主要道路によって森林公園が分断されてしまい、公園利用者の安全性や利便性が著しく低下する**可能性がある計画となっている点。

環境保全・景観保全

- 1) 通過車両により排ガスCo2増加、振動/粉塵/騒音により周辺環境劣化。
- 2) 経年やナラ枯れで急速に樹木が痛んでいる。跡地を緑地化すべきでは？
- 3) 開発中央地域に4階以上（10m以上）の建物が建ってしまった場合、ドーナツ広場中央部（見晴らし台）から富士山の眺望が損なわれる恐れ？！

旧一等馬見所保全

- 1) 近年台風や大雨などの影響により鉄骨鉄筋コンクリートの劣化や壊れた窓から雨水侵入により外観内装共に劣化が激しい。1日も早い保全着手が必要では。
- 2) 開発が行われ、観覧席の目の前に主要道路が通った場合、車両往来により振動/粉塵/排ガスの影響により、壁面の劣化の進行や、地盤沈下の影響により建物の構造にも影響を与えるリスク大。そもそも市民の財産でもある産業文化遺産の目の前に、車両往来させるとは、時代に逆行しておりナンセンス。海外にも誇れる貴重な建築文化財の価値が下がるのでは？！

市民にとって、森林公園はかけがえのない場所であり財産。車両往来がなく、安心安全で快適な静かな公園環境を世代を通して維持して欲しい。
地域の子供達がのびのびと、車両往来の心配がなく安全に、安心して遊べる場所を維持して欲しい。
米軍施設跡地には主要道路整備の代わりに、市民の憩いの場として、遊歩道や散策路、
「市民のための公園機能※1」を追加する事で、市民生活の向上、心身リフレッシュして英気を養い、明日への活力に繋がって行くような機能があると良いのではないのでしょうか？

・跡地開発および公園機能拡充により魅力が高まり、旧一等馬見所が一般開放されて観光地化された場合、公園来場者が増加することが予想され、周辺道路渋滞対策が必要では？
【最適な候補地案】米軍消防署跡地付近を第3駐車場候補として検討するのはどうか？令和3年実績（園内第1、2駐車場の年間利用者100万人突破）

・都会に残された貴重な緑豊かな自然環境で、家族、一人、友人、孫たちとのんびり安心安全に過ごせる快適な環境を整備・維持して欲しい。有事の際に米軍施設跡地の一部の空き地を活用して、第6地区の防災拠点機能を整備するのはどうでしょうか？

下記「市民のための公園機能※1」を拡充する候補素案

- <市民の憩いの場>緑の拡充、花壇、ベンチ、オブジェアートなど（素案）
- <市民レクリエーションの場>ピクニック・BBQエリア、野外ステージ、水遊び場など（素案）
- <市民の健康増進の場>スポーツエリア、健康遊具、ヨガエリアなど（素案）
- <市民や子供達の農業体験の場※2>市民都市農園として、身近に農作業できる場や子供が収穫体験や環境学習ができ、老若男女楽しめるようなコミュニティ拠点があれば地域活性化が促進？

<防災拠点（有事）機能整備>第6地区周辺住民が避難する場合十分な施設・備蓄が必要では？平常時は第6地区自治会や市民の集会施設・交流拠点として地域コミュニティに活用できるような場所があっても良いのではないかと？※最適な候補地案：米軍の車両整備工場跡地（ドーナツ広場トイレの裏手の土地）
<防犯・治安の機能拡充>開発により市内外から人や車の流入増加が見込まれるため、第6地区内に防犯カメラの増設や犯罪抑止や交通事故対策、違法駐車対策の仕組みが必要ではないかと？

<地球環境>施設跡地返還後は主要道路整備の代わりに公園拡張時に遊歩道を整備しアスファルト部分を減らし緑地を80%増やす事で、CO2対策を行い温暖化やヒートアイランド対策を考えて行く必要がある。
<自然保全>既存の自生植物や野鳥、昆虫（カブト虫クワガタ）小動物（リス）の保護育成して欲しい。
※施設跡地付近にはカラスが大量発生していて近隣住民は糞害や泣き声に苦慮。繁殖対策して欲しい。
<学習環境>教育・啓蒙：子供達に都会の中にある豊かな自然体験ができるエリアがあると良いのでは。（遊びながら農作体験、収穫体験を通して学ぶ環境など）※2と連携

<景観保全>市民の財産である富士山の眺望に対する建築規制を都市計画策定前に行って欲しい。
・明治の古地図によると、養沢台正面の米軍施設跡地付近は、横浜の原風景の谷戸、棚畑や棚田があった記録があり、市民農園として一部復元できると良いのでは？

<歴史・文化の伝承・学習環境>・明治～戦前は競馬関連需要で地域が栄えて、日本の近代化の外交政策にとっても非常に重要な場所でもあった歴史もある。ここは建築物の保全後の一般開放を視野に入れて、旧根岸競馬場や第6地区の戦前戦後の郷土の歴史を伝えるミニ博物館等を設置するのはどうか（入館料）

<景観・美観の保全>・観覧席が保全され一般開放された場合、旧一等馬見所の目の前が、車両往来のある主要道路では台無しに。代替案として遊歩道や本来の芝生の馬場をイメージしたエリアを整備して、市民の憩いの場として利用するのはどうか？歴史に想いを馳せながら、公園散策を楽しめるのでは？

【公園拡張対象白桦】 跡地開発エリア活用提案 (203X年)

<歴史・文化の伝承・学習環境>

・明治～戦前は競馬関連需要で地域が栄えて、日本の近代化の外交政策にとっても非常に重要な場所でもあった歴史もある。

ここは建築物の保全後の一般開放を視野に入れて、旧根岸競馬場や戦前戦後の第6地区郷土の歴史を伝えるミニ博物館等を設置するのはどうか？

入館料を保全費用に充てる

<地球環境>施設跡地返還後は、主要道路整備の代わりに、公園拡張時にアスファルト部分を減らし、遊歩道を整備し緑地を80%増やす事で、CO2対策を行い温暖化やヒートアイランド対策を考えて行く必要があるのでは？

<市民や子供達の農業体験の場※2>

市民都市農園（身近に農作業できる場や子供が収穫体験や環境学習ができ、老若男女楽しめるようなコミュニティ拠点があれば地域の活性化に繋がるのでは？第6地区地域ボランティア等で運営するのはどうか。

農園運営費収入 有償農地貸し出し等

<周辺渋滞対策案：第3駐車場の整備>

・跡地開発および公園機能が拡充により魅力が高まり、旧一等馬見所が一般開放されて観光地化された場合、公園来場者が増加することが予想され、周辺道路渋滞対策が必要になってくるのでは？

令和3年実績

園内第1、2駐車場の年間利用者100万人突破

【最適な候補地案】米軍消防署跡地付近に第3駐車場整備を検討するのはどうか？

駐車料収入

<景観保全>

市民の財産である富士山の眺望に対する建築規制を都市計画策定前に確認して頂きたい。

ドーナツ広場中央
見晴らし台

歴史・文化の伝承

市民の憩いの場として遊歩道や散策路を（避難路）

市民農園

市民の憩いの場

<市民の憩いの場> 英気を養い活力を取戻す

緑の拡充、花壇、ベンチ、オブジェアートなど（素案）

<市民の健康増進の場>（素案）

スポーツエリア、健康遊具、ヨガエリアなど

<市民レクリエーションの場>（素案）

ピクニック・BBQエリア、野外ステージ、水遊び場など
※利用料収入等 ※イベント収入等

<防災拠点（有事）機能整備>

第6地区周辺住民が避難する場合の施設と備蓄が必要では？ 平常時は第6地区自治会や市民の集会施設・交流拠点として地域コミュニティに活用できるような施設があっても良いのではないかと？

【最適な候補地案】米軍の車両整備場跡地（ドーナツ広場トイレの裏手の土地）

<景観・美観の保全>

・観覧席が保全され一般開放された場合、旧一等馬見所の目の前が、車両往来のある主要道路では台無しに。代替案として遊歩道や本来の芝生の馬場をイメージしたエリアを整備して、市民の憩いの場として利用するのはどうか？ 歴史に想いを馳せながら、公園散策を楽しめるのでは？

<防犯・治安機能拡充>開発により市内外から人や車の流入増加が見込まれるため、第6地区内に防犯カメラの増設による犯罪抑止や交通事故対策、違法駐車対策の仕組みが必要ではないかと？